

龍り昇気運で立橋天

宮津 玉に願い込め「股のぞき」

日本三景・天橋立(宮津市)で願い事を紙にしたため、木製の玉に込めて「股のぞき」をし成就を祈る開運体験「龍☆万倍」が始まった。股のぞきの後、指定の寺社で参拝し玉を奉納する仕組みで、天橋立の景観を眺めるだけでなく、船やバスに乗ってまち巡りも楽しめる。

天橋立観光協会や丹後 査している「じゃらんり には龍にまつわる伝説が海陸交通、宮津市などで サーチセンター」(東京 多く残ることから、龍をつくる「市観光戦略推進 都)の協力を得て企画し テーマにしたまち歩きをチーム」が、観光地を調 た。天橋立や近隣の寺社 考案した。



願い事を書いた紙を収めた「願い玉」宮津市大垣・傘松公園

指定の寺社に奉納 まち巡りも楽しんで

「願い玉」は直径5cmの木製で、購入時に手渡される用紙に願いを書いて玉の中に収め、手に持って股のぞきをして祈願する。その後、龍神社(同市大垣)、智恵寺(文珠)、成相寺(成相寺)に奉納する。参拝先はひもの色によって指定されている。

ひもの色には能力や知識の向上(青色)、良縁(赤色)、必勝祈願(白色)といった意味が込められており、6種類ある。

1月20日に開かれた披露会では、企画に携わった同センター主席研究員の森戸香奈子さん(46)が玉を奉納し、「景色を見ただけで終わるのではなく、周遊のきっかけができると思う。まち巡りのモデルコースになってくれたら」と話した。

願い玉は3千個作成した。傘松公園(大垣)と天橋立ビュウランド(文珠)で1個千円で販売している。天橋立観光協会
0772(22)8030。

(能美孝啓)

天橋立 股のぞき開運体験

寺社巡りと組み合わせ観光メニュー

1/21 産経



願い玉智恵寺に奉納された「宮津市文珠



「龍の願い玉」を手に股のぞきをす
る城崎市長（左）ら—宮津市大垣

日本三景のひとつ天橋立の観光活用を推進するため、宮津市や市内の観光業者らが20日、新たな体験メニューを発表した。天橋立の「股のぞき」と寺社巡りを組み合わせ、開運体験として観光コースとした。天橋立が「開運の場所である」と価値付けるとともに、観光客の同市での滞在時間、周辺への回遊性を高めることを目指している。

新型コロナウイルスで、同市の（市商工観光課）としてお令和3年の観光客数は約168万人（前年比21.3%増）の観光事業を掲げて観光社と落ち込んだ。今年は「コロナ前の約8割くらいまで回復した」と感じている。

天橋立は股のぞきをする「龍が舞っているように見えることから、縁起のいい景色」とされる。今回の体験メニューでは、この特徴と寺社での開運祈願を組み合わせた。

体験メニューは「股のぞき☆一龍万倍」と名付けられた。天橋立傘松公園（同市大垣）か天橋立ビューランド（同市文珠）で、木製の「龍の願い玉」（直径約5センチ、千円）を購入し、願い事を書いた用紙を封入、観光客の同市での滞在時間、周辺への回遊性を高めることを目指している。

かんたさま、股のぞきを行う。知恵増や良縁祈願、必勝祈願など願いごとの内容別に智恵寺、元伊勢龍神社、成相寺に参拝し、玉を奉納し、開運を祈る。21日からスタートし、「龍の願い玉」は3千個販売する。体験メニューの開発を進めた「じゃらんリサーチセンター」の森戸香奈さんは「宮津の名所旧跡を体験でき、宮津を訪れる人には観光のモデルコースになるのでは」と期待する。

20日は城崎雅文市長らがメニューを体験。天橋立傘松公園で「宮津弥栄（繁栄を願う）」この願いを込めた玉を手に「股のぞき」、観光船で智恵寺（同市文珠）に移動し、玉を奉納した。城崎市長は「股のぞきだけでなく、その後に寺社を参拝していただくことで、観光客が滞留し、消費の向上にもつながる。『いい観光メニューだ』と実感した」とアピール。智恵寺の萩原一世住職は「宮津は神仏と人が同居する場所でもある。そういう場所を知ってもらって、ぜひ訪れたい」と歓迎していた。

天橋立で「一龍万倍」

股のぞき⇩寺社巡り新体験

宮津市は20日、日本三景の一つ、天橋立の新しい体験プログラム「股のぞき☆一龍万倍」を開発したと発表した。天橋立に残るさまざまな龍伝説にちなみ、地元の寺社（智恵寺、元伊勢龍神社、成相寺）を巡る周遊型観光で、21日から実証的に開始。4月から本格的に実施する。【塩田敏夫】

宮津市実証実験

城崎雅文市長が20日にお披露目会を開き「コロナ禍が続く、観光を軸とする地域経済が大きな打撃を受けている。観光産業の回復が二丁目一番地の課題だ」とあいさつ。天橋立観光協会やリクルートじゃらんリサーチセンター（東京）などと連携して開発したプログラムを市長自身が体験した。

「願い玉」に託す

まず天橋立傘松公園や天橋立ビューランドの展望所に登り、「龍の願い玉」（6種類、税込み1000円）を購入する。その際、願

いごとに合わせて、知恵を授かるなら青色、商売繁盛は黄色、良縁は赤色など、ひもの色を決める。願いごとを書いた「願い用紙」を入れた玉の中を持ちながら「股のぞき」を行い、成就を祈願。ひもの色ごとに決まっている奉納先の寺社に向かうという段取りだ。

奉納先の一つとなった智恵寺の萩原一政住職（41）は「天橋立は昔から多くの人が集まって折り、願いごとをする場だった。この体験プログラムがきっかけとなり、天橋立を訪れる人が増えたらありがたい」と話した。

城崎市長とともにプログラムを体験したりクルートじゃらんリサーチセンターの森戸香奈子・主席研究員は「旅先で一泊し何をしようかと思った時、この体験プログラムは役立つと思う」と話した。問い合わせは宮津市商工観光課（0772・4511625）。



「龍の願い玉」を持つ城崎雅文市長（左）と森戸香奈子・主席研究員—宮津市の天橋立ビューランドで

天橋立 股のぞき開運体験

寺社巡りと組み合わせ観光メニュー

1/21 産経



願い玉智恵寺に奉納された「宮津市文珠



「龍の願い玉」を手に股のぞきをす
る城崎市長（左）ら—宮津市大垣

日本三景のひとつ天橋立の観光活用を推進するため、宮津市や市内の観光業者らが20日、新たな体験メニューを発表した。天橋立の「股のぞき」と寺社巡りを組み合わせ、開運体験として観光コースとした。天橋立が「開運の場所である」と価値付けるとともに、観光客の同市での滞在時間、周辺への回遊性を高めることを目指している。

新型コロナウイルスで、同市の（市商工観光課）としてお令和3年の観光客数は約168万人（前年比21.3%増）の観光事業を掲げて観光減と落ち込んだ。今年は、客増加を目指す。コロナ前の約8割くらいまで回復したと感じている。

天橋立は股のぞきをする見ることから、縁起のいい景色とされる。今回の体験メニューでは、この特徴と寺社での開運祈願を組み合わせた。

体験メニューは「股のぞき」龍万倍」と名付けられた。天橋立傘松公園（同市大垣）か天橋立ビューランド（同市文珠）で、木製の「龍の願い玉」（直径約5センチ、千円）を購入し、願い事を書いた用紙を封入、観光客の同市での滞在時間、周辺への回遊性を高めることを目指している。

かんたさま、股のぞきを行う。知恵増や良縁祈願、必勝祈願など願いごとの内容別に智恵寺、元伊勢龍神社、成相寺に参拝し、玉を奉納し、開運を祈る。21日からスタートし、龍の願い玉は3千個販売する。体験メニューの開発を進めた「じゃらんリサーチセンター」の森戸香奈さんは「宮津の名所旧跡を体験でき、宮津を訪れる人には観光のモデルコースになるのでは」と期待する。

20日は城崎雅文市長らがメニューを体験。天橋立傘松公園で「宮津弥栄」繁栄を願う。この願いを込めた玉を手に「股のぞき」、観光船で智恵寺（同市文珠）に移動し、玉を奉納した。城崎市長は「股のぞきだけでなく、その後に寺社を参拝していただくことで、観光客が滞留し、消費の向上にもつながる。「いい観光メニューだ」と実感した。智恵寺の萩原一世住職は「宮津は神仏と人が同居する場所でもある。そういう場所を知ってもらい、仲間になれば」と歓迎していた。

天橋立で「一龍万倍」

股のぞき 寺社巡り新体験

宮津市は20日、日本三景の一つ、天橋立の新しい体験プログラム「股のぞき一龍万倍」を開発したと発表した。天橋立に残るさまざまな龍伝説にちなみ、地元の寺社（智恵寺、元伊勢龍神社、成相寺）を巡る周遊型観光で、21日から実証的に開始。4月から本格的に実施する。【塩田敏夫】

宮津市実証実験

城崎雅文市長が20日にお披露目会を開き「コロナ禍が続く、観光を軸とする地域経済が大きな打撃を受けている。観光産業の回復が二丁目一番地の課題だ」とあいさつ。天橋立観光協会やリクルートじゃらんリサーチセンター（東京）などと連携して開発したプログラムを市長自身が体験した。

「願い玉」に託す

まず天橋立傘松公園や天橋立ビューランドの展望所に登り、「龍の願い玉」（6種類、税込み1000円）を購入する。その際、願



「龍の願い玉」を持つ城崎雅文市長（左）と森戸香奈子・主席研究員—宮津市の天橋立ビューランドで

いごとに合わせて、知恵を授かるなら青色、商売繁盛は黄色、良縁は赤色など、ひもの色を決める。願いごとを書いた「願い用紙」を入れた玉の中を持ちながら「股のぞき」を行い、成就を祈願。ひもの色ごとに決まっている奉納先の寺社に向かうという段取りだ。奉納先の一つとなった智恵寺の萩原一世住職（41）は「天橋立は昔から多くの人が集まって折り、願いごとをする場だった。この体験プログラムがきっかけとなり、天橋立を訪れる人が増えたらありがたい」と話した。城崎市長とともにプログラムを体験したりクルートじゃらんリサーチセンターの森戸香奈子・主席研究員は「旅先で一泊し何をしようかと思った時、この体験プログラムは役立つと思う」と話した。問い合わせは宮津市商工観光課（0772・4511625）。